

# 液状化について学習しよう(2)

## 4 わたしのお家の地盤は液状化しやすいですか？



ボーリング調査などの地盤調査の結果から、地盤の特徴が似ている地区を大きく8つに区分しました。

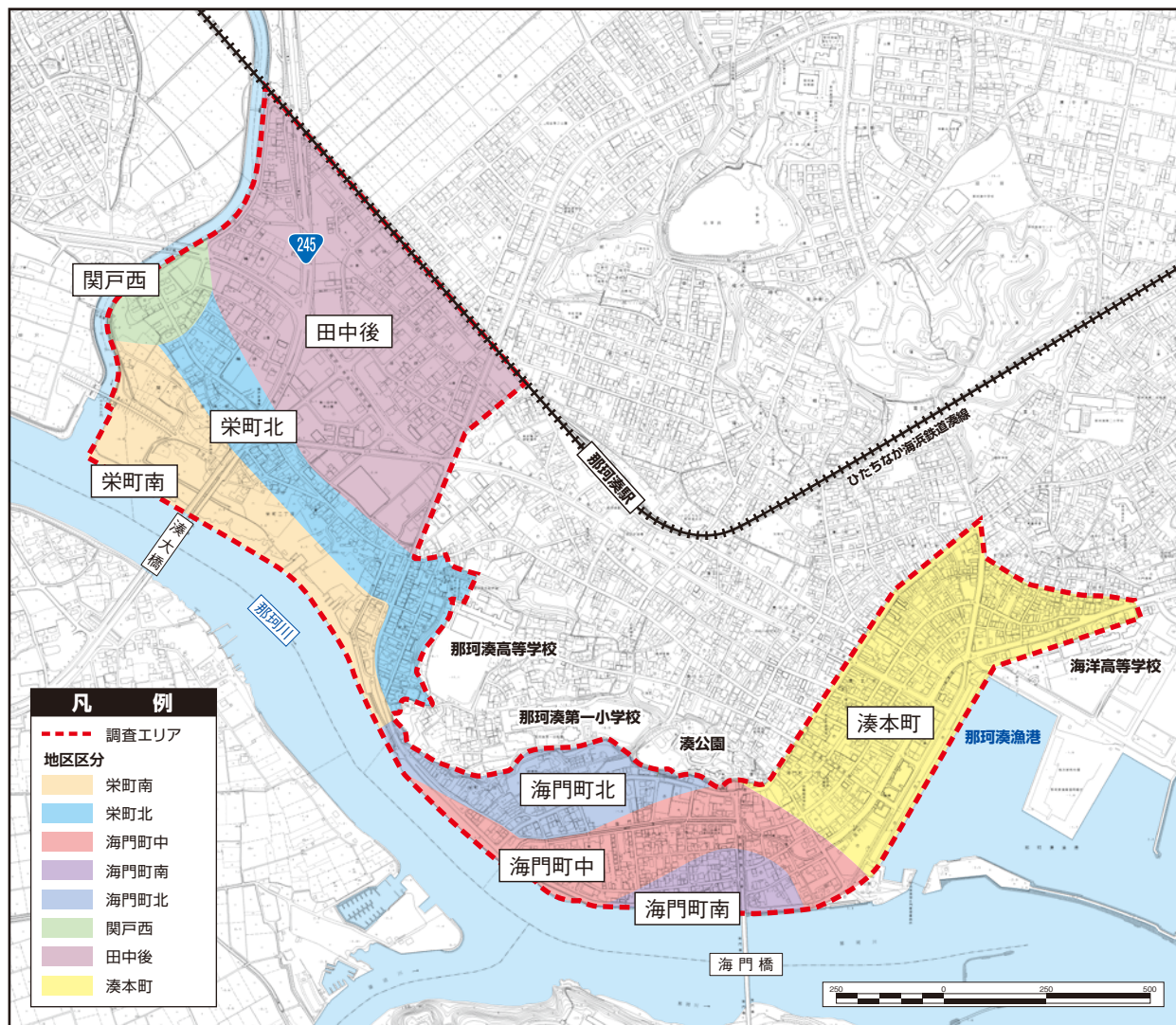


図1-2 地盤の特徴による地区区分



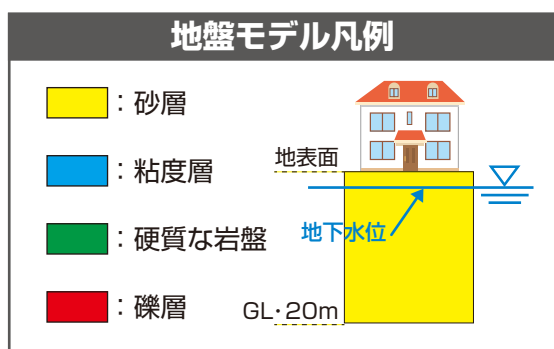
それぞれの地区の地盤の特徴を見てみましょう。

ボーリング調査の結果や地盤情報(地形図、地質図等)などから、地盤の特徴が似ている地区を大きく8つに区分し(図1-2)、各地区の概ねの地盤の特徴を示しています(表1-1)。ただし、お住まいの地盤の状況と必ず一致するとは限りませんのでご注意ください。

また、この地区名は区分した地区を分かり易くするため代表的な名称で区分しています。

表 1-1 各地区の地盤の特徴

地区名	地盤モデル	地下水位	地下水位以下の砂層 (液状化の可能性が ある層) の厚さ	地盤の特徴など
関戸西		約1m	非常に厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中丸川沿いの旧河道で、<b>砂層</b>が厚く分布</li> <li>● 地下15m付近に<b>硬い岩盤</b></li> </ul>
田中後		0.5~1m	厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧耕作地を盛土造成</li> <li>● <b>砂層</b>の下は軟弱な<b>粘土層</b></li> <li>● 今回の震災では、地下水位が高く、人工的な盛土層が厚い箇所では液状化が発生</li> </ul>
栄町北		約1m	比較的薄い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>硬い岩盤</b>が地下5~15m付近に分布する地区</li> <li>● <b>砂層</b>が薄いため、液状化危険度は比較的低い</li> </ul>
栄町南		1~2m	厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「田中後」と地盤分布が似ているが地下水位が比較的低いため、今回の震災で液状化被害はほとんどみられなかった</li> </ul>
海門町北		0.5~1m	薄い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>砂層</b>が薄いため、液状化危険度は比較的低い</li> <li>● 軟弱な<b>粘土層</b>が厚く分布</li> </ul>
海門町中		1~2m	非常に厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 万衛門川沿いの旧河道で、<b>砂層</b>が厚く分布</li> <li>● 地下水位は比較的低く、今回の震災では地中で液状化が発生→地上で噴水、噴砂</li> </ul>
海門町南		1~2m	厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 那珂川と万衛門川の間で、地下10mまでは<b>砂層</b>が厚く分布</li> <li>● 地下10m以深は軟弱な<b>粘土層</b>が分布</li> </ul>
湊本町		1~2m	厚い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地下10mまでは<b>砂層</b>が厚く分布</li> <li>● <b>砂層</b>の間に<b>礫層</b>が分布</li> </ul>



地盤は、長期間かけて自然堆積した地層の積み重なりです。大昔に川の通り道だったと思われる海門町などはかなり複雑な地層ですね。また、地下水位は季節（雨季・乾季）や、海や川の近くでは潮位などによって変動することも念頭におきましょう。

